

一九八二年十一月二十五日
発行



第 65 卷 第 6 号 史学・地理学・考古学

論 説

- 秦の隸属身分とその起源…………… 粂 山 明 (1)
——隸臣妾問題に寄せて——
- 唐代河東池塩の生産と流通…………… 妹 尾 達 彦 (35)
——河東塩税機関の立地と機能——
- 加藤友三郎内閣期の選挙法改正問題…………… 松 尾 尊 允 (73)
- フランスにおける社共の政権協力と決裂
(1944—1947年)…………… 杉 本 淑 彦 (106)
——社会党の政権構想と経済復興路線を中心にして——

書 評

- 脇田修著『織田政権の基礎構造 織豊政権の分析 I』…………… 中 口 久 夫 (144)

史 学 研 究 会

京都大学文学部内

受贈図書

(一九八一年六月一日)

〇一月一九日)

東洋大学文学部紀要(東洋大学文学部)

三四

歴史科学(朝鮮社会科学院) 一九八一—二

化粧文化(ポーラ文化研究所) 四

一橋研究(一橋大学大学院) 五十四、六

一

尋源(大谷大学国史学会) 三二

美術研究(東京国立文化財研究所) 三

五、三二六

金日成著作集(朝鮮社会科学院) 三

文化語学習(朝鮮社会科学院) 二

史朋(史朋同人) 一七

史泉(関西大学史学会) 五五

花ヶ前盛明著、越後城郭の研究(花ヶ前盛明)

海軍史研究(日本海軍史学会) 三六

湘南史学(東海大学日本史学友会) 五

学術研究(早稲田大学教育学部) 二九

国史談話会雑誌(東北大学国史談話会)

二二

熊本史学(熊本大学) 五五・五六

日本民族学(成城大学) 一三四

脇田晴子著、日本中世都市論(東大出版会)

W・ゴードン著、稲本忠雄訳、上田宏範

校注、日本古墳文化論(大阪創元社)

大津市史(大津市役所市史編さん室) 第

四卷

ВЕСТНИК ПУБЛИЧНОЙ КНИГОП

九八一—二

哲学研究(京都大学) 四六一—二

専修史学(専修大学史学会) 一三

竜野市史(竜野市役所市史編さん室) 第

二卷

龍谷史壇(龍谷大学史学会) 七九

金日成著作集(朝鮮社会科学院) 四

佐伯有清編、邪馬台国基本論文集(創元社)

文明(東海大学文明研究所) 三二

隼人文化(隼人文化研究所) 九

東大寺文書目録(奈良国立文化財研究所)

三

海南史学(高知大学人文学部海南史学会)

一九

人文学科論集(鹿児島大学法学部) 一六

鹿児島経大論集(鹿児島経済大学学会)

二二—二

神道学(出雲大社神道学会) 一一〇

東北大学文学部研究年報(東北大学文学部)

三〇

三浦古文化(三浦古文化研究所) 二九

岩手史学研究(岩手大学教育学部岩手史学

会) 六五

人類学雑誌(日本人類学会) 八九—三

民族研究(北京民族研究杂志社) 四

吐魯番出土文書(中華民国武漢大学歴史系

魏晉南北朝隋唐研究室) 第一冊

歴史学論集(山梨大学教育学部) 二四

金日成著作集(朝鮮社会科学院) 五

経済論究(九州大学大学院経済学会) 五一

人文論叢(福岡大学研究所) 一三一—二

文学会志(山口大学) 二三

歴史学報(歴史学会外ヶ特別市) 九〇

韓国史研究叢報(国史編纂委員会外ヶ特別

市) 三二・三三

栄沢幸二、大正デモクラシー期の政治思想

(研究出版)

福岡大学研究所報(福岡大学研究所) 五

二

社会科学論集(大阪府立大学社会科学研究

会) 一一・一二合併

紀州経済史文化史研究所紀要(和歌山大学)

一

産業社会論集(立命館大学産業社会学会)

二八

同朋大学論叢(同朋学会) 四三

史学論集(駒沢大学大学院史学会) 一一

一橋研究(一橋大学大学院一橋研究編集委員会) 六一二

世界華学(中華学院世界華学研究所) 四

紀要(中央大学文学部) 二六

肥田政彦著、//邪馬台国西進// 箸墓の被葬者は女王耆與(肥田政彦)

大正大学文学部論叢(大正大学文学部) 七〇

神道史研究(八坂神社神道史学会) 二九

一三

駿台史学(明治大学文学部駿台史学会) 五三

歴史研究(大阪府立大学) 二二

文理論集(西南学院大学) 二二一

『史林』投稿規定

本誌の投稿規定は次の通りです。

◇資格 本会会員であること

◇投稿受付原稿の種類、長さなど

○研究論文・研究ノート

四〇〇字詰五〇枚程度

研究論文には四〇〇字以内の「要約」と、「英文要約」を添付のこと(研究ノートには両方とも不用)

註は原則として各章末に入れること

○学会動向・批判と反省

四〇〇字詰三〇枚以内

○書評 四〇〇字詰二〇枚以内

○紹介 四〇〇字詰三枚程度

◇送先 史林編集委員会

〒六〇六 京都市左京区吉田本町

京都大学文学部内

編集後記

校正も最終段階に入り、今編集子のいる文学部陳列館の窓から見える銀杏も、いつものまにか散り過ぎてゆきます。秋から冬へのこの季節、諸兄弟姉にあっても、研究に、思索に、よき時を過ごされていると推察致します。

旅人と我名よばれん初しぐれ 芭蕉

* (貞享四年 笈の小文)

編集子が本号の編集に携わっていた期間

は、ちょうど教科書問題が大きくとりあげられていた時期でした。最近、日本歴史学

協会でも論議されたと聞いております。校正を終えた一時、六五巻を数えるに至った本誌の並んでいる編集用の書架から、戦時期の「史林」をとり出して、くってみますと、その誌面や、彙報・会報らんには「時局」を極めて鮮明に想起させるものがあります。本誌もまた時代の子であったのであり、そのことに我々なりに深く思いを至さざるを得ません。

* さて、本号は、東洋史・現代史の論稿各二本と、国史の書評一本とや重厚なものとなりました。それぞれに綿密な実証をふまえたものです。よろしく御吟味下さい。(横田)

一九八三年十月二十五日印刷

一九八三年十一月一日発行 定価九〇〇円

史林 (第六五巻第六号)

発行人 史学研究会

京都市左京区吉田本町 京都大学文学部

理事長 岸俊男

京都市下京区七条御所ノ内中町五〇

印刷所 中村印刷株式会社

振替京都七一一五五番

812 (946)

THE SHIRIN

or the

JOURNAL OF HISTORY

Vol. LXV No. 6 Nov. 1982

CONTENTS

Article :

- The Subordinate Status in *Qin* 秦 and Its Origin
.....A. Momiyama (1)
- The Production and Circulation of the *Hedong*
河東 Pool Salt and the *Hedong* Government
Salt Agency in the *Tang* 唐 PeriodT. Seo (35)
- The Revision of the Election Law and the
Government of *Tomosaburô Katô* 加藤友三郎.....T. Matsuo (73)
- Coalition et Rupture entre la S. F. I. O. et le
P. C. F. 1944-1947Y. Sugimoto (106)

Book Review :

- Osamu Wakita, *The Understructure of the
Oda* 織田 *Government*H. Nakaguchi (144)

Miscellaneous :

Published

by

THE SHIGAKU KENKYUKAI

(*The Society of Historical Research*)

Kyoto University, Kyoto, Japan

ISSN 0386—9369